

第3回 コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会 議事録

1. 日時：平成31年3月18日（月）14:00～17:00
2. 場所：徳島大学工学部理工学科社会基盤デザインコース 建設棟3階303室
3. 出席者：橋本，塚越，吉田，横手，渡部，森本，石井，原田，堀井，岸本，高橋，中川，金滝，荻田，田中，栗栖（敬称略，順不同）以上 16名
4. 配布資料
 - 3-0：第3回委員会議事次第
 - 3-1：第2回コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会議事録（案）
 - 3-2：2018年度 委員会収支報告書（塚越幹事長）
 - 3-3：公益社団法人 JCI 四国支部コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会活動報告書（橋本委員長）
 - 3-4：四国内の銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの普及状況に関するアンケート実施報告（橋本委員長）
 - 3-5：CUS コンクリートに関する2次アンケートの経過報告（塚越幹事長）
 - 3-6：低吸水性骨材（銅スラグ砂・石灰岩砕石）とフライアッシュの使用効果について（堀井委員）
 - 3-7：材料条件の異なるコンクリート圧縮強度推定のための各種非破壊検査手法の評価（塚越幹事長）
 - 3-8：各種スラグ及びフライアッシュを使用した重量コンクリートの特性（横井委員）
5. 議事
 - 1) 配布資料の確認および委員長挨拶
橋本委員長より，二次ヒアリングご協力いただいた委員の皆さんに対して，お礼と感謝の言葉が述べられた。また，報告書とガイドラインの作成に向けて引き続きご協力頂きたい旨の挨拶があった。
 - 2) 新委員自己紹介
第3回委員会より新たに参加された，荻田委員より自己紹介があった。
 - 3) 第2回委員会議事録（案）の確認
塚越幹事長より，資料3-1の第2回委員会議事録（案）が通読された後，承認された。
 - 4) 2018年度 委員会収支報告
塚越幹事長より，資料3-2を用いて，本委員会の2018年度の収支報告が説明され，承認された。
 - 5) JCI 近畿支部銅スラグ細骨材の土木用コンクリートへの適用に関する研究専門委員会での活動報告
橋本委員長より，資料3-3を用いて，JCI 近畿支部で行った本四国支部での活動報告があった。
 - 6) 1次アンケートのデータの一部修正について
橋本委員長より，資料3-4を用いて，1次アンケートのデータについて修正の説明があった。
 - 7) 2次アンケートの経過報告
塚越幹事長より，資料3-5を用いて，2次アンケートについて経過報告があった。
 - 8) 大学・高専で CUS を用いた研究に関する中間報告
 - 8-1) 砕石砕砂の乾燥収縮対策
堀井委員より，資料3-6を用いて，砕石砕砂コンクリートの乾燥収縮に及ぼす CUS と FA の使用効果について説明があった。
 - 8-2) CUS と FA を混合使用したモルタルの基礎物性
堀井委員より，同資料3-6を用いて，CUS と FA を混合使用したモルタルの基礎物性について説明があった。
 - 8-3) CUS コンクリートの非破壊による強度推定
塚越幹事長より，資料3-7を用いて，CUS コンクリートの非破壊試験法による強度推定について説明があった。
 - 8-4) CUS 及び FA を使用した重量コンクリートの特性
橋本委員長より，資料3-8を用いて，硬質砂岩砕砂・砕石，高炉セメント B 種，フライアッシュや CUS，MNG(マンガンスラグ粗骨材)を用いた重量コンクリートの特性について説明があった。

報告者：塚越 以上